平成28年度障害児・者実態調査項目　事務局で実施した見直し項目一覧

〇平成28年度の調査を実施するにあたり、より有用、有効な調査とするために、前回までの調査を元に、調査項目の見直しを行います。
平成30年以降の今後の新たな取り組みに繋げる設問の追加や体裁の修正と質問、選択肢の整理など、全般的に事務局で項目の見直しを行いました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
1	前説	共通	表紙	平成28年度の実態調査実施の主旨や内容、 スケジュールに合わせて、文言を修正	平成30年度からを計画期間とする「**（次期）北九州市障害者支援計画（仮称）**」を策定する時の基礎資料とする・・・ 調査は**平成28年10月1日**現在の状況で・・・ 封筒に入れて、**10月31日（月）**までに・・・ に変更しました。
2	前説	共通	表紙	問い合わせ先 組織改正にともない修正	障害福祉**企画課** 電話**582－2453** に変更しました。
3	前説	共通	表紙	ご記入にあたって、 「代筆」と「代理記入」の意味を明確に また、記入したくない項目への助言	「・・・**その答えを代筆（又は、代理で記入）してください。**」 に変更しました。また、 「**●答えたくない質問は、無理に答えなくても構いません。**」 を追加しました。
4	前説	共通	記入方法	記入方法についておたずねします、で 「代筆」と「代理記入」の意味を明確に	「02. 本人にたずねて、その回答を代理で記入（代筆）」 「03. 本人が意思表示できないため**、本人の立場にたって**代理で記入」 に変更しました。
5	前説	共通	記入方法	代理で記入する人の続柄について、 記入欄に「本人からみて」を追記	代理で記入する人の続柄 ；**障害のあるご本人からみて**（　　） を追加しました。
6	前説	共通	目次	調査の全容が把握できるように	目次を追加しました。
7	調査項目 質問内容	共通	全般	回答選択肢の表示順を見やすく	選択肢の表示順を、縦並びから横並びに変更しました。
8	調査項目 質問内容	共通	身体1 知的1 精神1	あなたは何歳ですか。 「01.**18～20歳未満**」 調査対象者はもともと18歳以上	あなたは何歳ですか。 「01.**20歳未満**」 に修正しました。
9	調査項目 質問内容	共通	発達1 難病1	あなたは何歳ですか。 「01.**0～9歳**」 「02.**10～19歳**」 他の障害と年齢区分を合わせ、未就学児、小学生、中高生、18歳以上の区分に	あなたは何歳ですか。 「01.**0～5歳**」 「02.**6～11歳**」 「03.**12～17歳**」 「04.**18～19歳**」 に変更しました。
10	調査項目 質問内容	共通	身体2 知的2 精神2 障害児2 発達2 難病2	性別について トランジェンダーへの配慮	本人（介助者）の性別について 01.男性 02.女性 「03.**答えたくない**」 を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
11	調査項目 質問内容	共通	身体5、7 知的8 障害児5、7 難病7	障害の種類について 手帳の記載にある表記に統一すべき	問　身体障害手帳に記載されたもののうち、主な障害の種類は何ですか。 01.視覚**障害** 02.聴覚又は並行機能**障害** 03.音声・言語・そしゃく機能**障害** 04.**肢体不自由**（上肢） 05.**肢体不自由**（下肢） 06.**肢体不自由**（体幹） 07.脳原性運動機能障害（脳性まひ） 08.心臓**機能障害** 09.じん臓**機能障害** 10.呼吸器**機能障害** 11.ぼうこう又は直腸**機能障害** 12.小腸**機能障害** 13.免疫**機能障害** 14.肝臓**機能障害** に修正しました。
12	調査項目 質問内容	共通	身体9 知的6 精神5 障害児11 発達8 難病4	最初に障害が分かったときについて、 障害種ごとに設問の内容を工夫し、わかりやすく	障害種ごとに回答しやすくなるように設問を整理しました。 問　**障害があるとわかったのは何歳のときですか**。（最初に障害が生じたとき、**診断をうけたとき**、病気などの場合は発病したときの満年齢）
13	調査項目 質問内容	共通	身体10 知的7 精神7 障害児8 発達4 難病8	手帳の保有状況の設問を整理 発達障害においても、他の障害状況（診断名）を把握	問　あなたは療育手帳などをお持ちですか。 01.**療育手帳を持っている** 02.**精神障害者保健福祉手帳を持っている** 03.持っていない 04.その他（具体的に　　） 副問1　**療育手帳の種類は何ですか。** 01.**A1**、02.**A2**、03.**A3**、04.**B1**、05.**B2** 副問2　**精神障害者保健福祉手帳の等級は何ですか。** 01.**1級**、02.**2級**、03.**3級** などに変更しました。
14	調査項目 質問内容	共通	知的7 精神4、7 発達4	手帳を持たない自立支援医療受給者への対応	問　あなたは精神福祉保健手帳を持っていますか。 「**持っていない**」 を追加しました。 その上で、手帳を持っている人に、等級を確認するように変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
15	調査項目 質問内容	共通	身体11 知的5、9 精神6、8 障害児9、10、12 発達5、6、7 難病9	知的、精神、発達障害にかかる診断名についての設問は、文言に留意してほしい。	知的、精神、発達障害にかかる「診断名」の設問については、それぞれ各障害の診断を受けているか質問したうえで、副問で診断名を問うようにしました。 問　**あなたは知的な遅れなどに関する診断を受けていますか**。 問　**あなたは発達障害と診断されています**か。 副問　**あなたの診断名は何ですか**。 に変更しました。
16	調査項目 質問内容	共通		精神、発達障害などの診断について配慮を「わからない」など	「**分からない**」 を追加しました。
17	調査項目 質問内容	共通	新設 （追加）	発達障害児者にも、知的障害、精神障害の診断を受けているかの設問を追加し、実態を把握する	問　**あなたは知的な遅れなどに関する診断を受けていますか**。 問　**あなたは精神障害と診断されていますか**。 を追加しました。 その上で、それぞれ診断名を確認するようにしました。
18	調査項目 質問内容	共通	身体11 知的9 精神8 障害児12 発達5 難病9	発達障害児者のとりまく状況、特に、地域での医療のあり方などについて実態を把握する	発達障害診断後の受診状況などを問う設問新設。 副問2　**発達障害の診断後、引き続き医療機関で受診したり、発達支援の提供を受けたりしていますか**。 01.**発達障害の専門医を受診している** 02.**専門医ではない医師を受診して、発達障害に関する診療や支援をうけている** 03.その他（具体的に　　） 04.**発達障害について、受診していない** 副問3　**引き続き受診している医療機関の診療科は何ですか**。 01.**小児科**、02.**小児神経科**、03.**神経科**、04.**心療内科** 05.**その他（　　）**、06.**分からない** 副問4　**診療や支援の内容は何ですか。** 01.**知能検査の実施** 02.**二次的障害への対応** 03.**薬物療法** 04.**言語療法** 05.**心理療法** 06.**カウンセリング** 07.**家族の支援（家族のカウンセリングや育て方指導など）** 08.**その他（具体的に　　）** 09.**分からない** を新たに追加しました。
19	調査項目 質問内容	共通	身体11 知的9 精神8 障害児12 難病9	発達障害専門医以外の医師に受診するときについて、設問の文言を整理する 副問3　あなたが発達障害の専門医ではない医師に診断されるときに困ったことや希望することは・・・	副問5　あなたが**上記以外の医師**（発達障害の専門医ではない医師）**を受診する**ときに困ったことや希望することは・・・ に修正しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
20	調査項目 質問内容	共通	身体12 知的10 精神9 障害児13 発達9 難病5	難病（特定疾患）の認定疾患の変更を反映	別紙を「障害者総合支援法の対象疾病一覧」 に変更しました。
21	調査項目 質問内容	共通	身体13 知的11 精神10 障害児14 発達10 難病10	高次脳機能障害についての実態を把握する	問　あなたは高次脳機能障害と診断されていますか。 副問　その関連障害は何ですか。 01.記憶障害（前向健忘） 02.記憶障害（逆行健忘） 03.全般性注意障害 04.半側空間無視 05.目的に適った行動計画の障害 06.目的に適った行動の実行障害 07.意欲・発動性の低下 08.情動コントロールの障害 09.対人関係の障害 10.依存的行動 11.その他（具体的に　　） 12.分からない を追加しました。
22	調査項目 質問内容	共通	身体14 知的12 精神11 障害児15 発達11 難病11	医療ケアの実態を把握する	問　あなたが現在受けている医療ケア（家族が行う介助を含む）は何ですか。 01.気管切開 02.人工呼吸器（レスピレーター） 03.吸入 04.吸引 05.胃ろう・腸ろう 06.鼻腔経管栄養 07.中心静脈栄養（IVH） 08.透析 09.カテーテル留置 10.ストマ（人工肛門・人工膀胱） 11.服薬管理（定時の服薬など） 12.その他（具体的に　　） 13.医療ケアは必要ない（受けていない） を追加しました。
23	調査項目 質問内容	共通	精神12	問　あなたの現在の状況をお知らせください。 「01.自宅で生活」 「02.精神科に入院中」 「03.福祉施設に入所中」 説明を丁寧に	問　あなたの現在の状況を教えてください。 「01.自宅で生活している」 「02.精神科に入院している」 「03.福祉施設に入所している」 に修正しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
24	調査項目 質問内容	共通	身体15 知的13 精神13、27 障害児16 発達12、19 難病12、19	住所について 「民間賃貸**借家**」は、「住宅」に	「03.**民間賃貸住宅**」 に修正しました。
25	調査項目 質問内容	共通	身体17 知的15 精神15、24、27 障害児17 発達14 難病14	一緒に住んでいる人について、 障害種で異なっている選択肢を統一する （統計反映のため）	「03.**子ども**」 「07.**その他親族**」 「08.**寮や施設の仲間**」 に変更しました。
26	調査項目 質問内容	共通	精神19	福祉施設への通所状況 「02.**通院**していない」 通所では。	「**02.通所していない**」 に修正しました。
27	調査項目 質問内容	共通	精神21	福祉施設への通所状況 問　あなたは通所している施設に**通所し始めて**からどれくらいたちますか。 通い始めてでは。	問　あなたは通所している施設に**通い**始めてからどれくらいたちますか。 に修正しました。
28	調査項目 質問内容	共通	精神23、30	問　福祉施設を利用する際にどんなことに不満・問題があると思いますか。 「07.施設の建物や設備に不満がある」 「08.外出の機会が少ない」 文言を整理する	問　福祉施設を利用する**とき、特に**どんなことに不満がありますか。 「07.施設の建物や設備**が良くない**」 「08.**施設から**外出**する**機会が少ない」 に修正しました。
29	調査項目 質問内容	共通	精神26	通算の入院期間について、 「わからない」を追加	「09.分からない」 を追加しました。
30	調査項目 質問内容	共通	精神27	あなたは将来的に退院したいかについて、 退院の意思や退院したくない理由などの実態を把握する	問　あなたは将来的に退院したいですか。 副問1　いつ頃までに退院したいと考えていますか。 01.**1か月以内** 02.**3か月以内** 03.**6か月以内** 04.**1年以内** 05.**その他（具体的に　　）** 06.**わからない** 設問4　「退院したくない」、「わからない」理由は何ですか。 01.**家族などの頼れる人がいない** 02.**地域に戻ることに不安を感じる** 03.**現在の生活に不満がない** 04.**退院したいが、方法がわからない** 05.**その他（具体的に　　）** 06.**わからない** を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
31	調査項目 質問内容	共通	身体18 知的16 精神32 障害児18 発達15 難病15	日常生活動作について、 問　あなたは次にあげる項目について、どの程度支援が必要ですか。 （4）洗面のとき （5）歯みがきのとき （9）車の乗り降りのとき 文言を整理する	問　あなたは次にあげる項目について、どの程度**介助**が必要ですか。 （4）**顔を洗うとき** （5）**歯みがきをするとき** （5）**車に乗り降りするとき** に修正しました。
32	調査項目 質問内容	共通	身体19 知的17 精神33 発達16 難病16	日常生活動作について、 問　あなたは次にあげる項目について、どの程度支援が必要ですか。 （1）部屋の整理 （2）洗濯 （3）買物 （4）食事の準備 （5）金銭管理 （6）服薬 一覧で、「該当する番号に○」をする形式を変更。個別に確認する	問　あなたは次にあげる項目について、どの程度**支援**が必要ですか。 （1）**部屋の整理をすること** （2）**洗濯をすること** （3）**買い物をすること** （4）**食事の準備をすること** （5）**金銭を管理すること** （6）**薬を飲むこと** に修正し、それぞれ該当する選択肢を選ぶようにしました。
33	調査項目 質問内容	共通	身体20 知的18 精神34 障害児19 発達17 難病17	介助者について、 問　あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態を教えてください。 障害種で異なっている選択肢を統一する （統計反映のため） また、年齢は自由記載をやめ、年代を選択肢として追加。	問　あなたを介助している**主な人は誰**ですか。 「01.**配偶者**（夫または妻）」 （1）**その方は何歳ですか。** （2）**その方の性別はどちらですか。** （3）**その方の健康状態はいかがですか。** （4）**その方は仕事をしていますか。** （5）**その方は方が病気のときや外出で不在のときは、主に誰があなたを介助していますか。** に変更しました。
34	調査項目 質問内容	共通	身体23 知的21 精神35 障害児20 発達20 難病20	福祉用具に対して関心のあることについて、価格など例示してわかりやすく	過去の回答実績から、主な回答を例示 副問　**特に関心のあることは何ですか**。 01.**福祉用具の種類** 02.**福祉用具の性能** 03.**福祉用具の費用、管理費** 04.**福祉用具の管理方法** 05.**福祉用具のレンタル制度** 06.**服用用具の最新情報** 07.**必要な手続きに関すること** 08.**利用者の声** 09.**その他（具体的に　　）** に変更しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
35	調査項目 質問内容	共通	身体24 知的22 精神36 障害児21、22 発達22	日中の過ごし方について、 回答選択肢の精査	「01.職場（正社員、パート・アルバイト）に行く」 「11.自宅で過ごす（家庭・家業の手伝い、家庭療養、家族と過ごすなど）」 に修正しました。 「06.リハビリテーションに行く」 「10.入所している施設や病院で過ごす」 を追加しました。
36				日中の過ごし方に、生活介護を追加	「04.生活介護事業所に行く」 を追加しました。
37				企業での福祉就労（施設外）に行く とは何か。 現在は該当がないのでは。	「企業での福祉就労〔施設外）に行く」 を削除しました。
38	調査項目 質問内容	共通	身体25 知的23 精神37 障害児23 発達21 難病21	精神障害者が地域で生活するために必要なことについて、設問を全障害種に拡大 回答を精査	問　あなたが地域で生活するためには、どのような支援が必要だと思いますか。 01. 在宅でも適切な医療ケアなどが得られるような支援 02. 障害者に適した住居の確保 03. 必要な在宅サービスの確保 04. 生活訓練や就労支援 05. 経済的な負担の軽減 06. 緊急時や困ったときにいつでも相談でき、必要な支援を受けることができる体制 07. 地域住民等の理解と交流の場の確保 08. 家族の負担軽減 09. その他（具体的に　） 10. 特に必要ない 11. 分からない 全障害種に設問を追加しました。
39	調査項目 質問内容	共通	発達23	日中の過ごし方について、 「学校に行く」と回答した人の、学校種など通学状況を把握する	問　あなたの通っている学校は何ですか。 01.小・中学校（普通学級） 02.小・中学校(特別支援学級） 03.特別支援学校（小・中・高等部）（訪問教育を含む） 04.高等学校・専門学校 05.大学 06.その他（具体的に　　） を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
40	調査項目 質問内容	共通	発達24	学校での発達障害に対する「理解はなされていますか。」との設問について、 回答をわかりやすく、 「01.十分に行われている」 「02.十分とはいえないが、行われている」 「03.行われていない」 「04.学校に障害のことを伝えていない」 また、「理解されていない」と思う理由や「学校に障害のことを伝えていない」理由について、より実態を把握する	「01.十分に**理解されていると思う**」 「02.十分とはいえないが、**理解されていると思う**」 「03.**理解されていないと思う**」 「04.学校に障害のことを伝えていない」 「05.**分からない**」 に変更しました。 「理解されていない」と思う理由や「学校に障害のことを伝えていない」理由について副問として独立して、回答欄を大きくしました。
41	調査項目 質問内容	共通	身体28 知的26 精神40 障害児27 発達28 難病24	1か月の医療費について 総医療費か自己負担額がわかりやすく	問　あなた**が支払う**1か月の医療費・・・ に修正しました。
42	調査項目 質問内容	共通	身体29 知的27 精神41 障害児28 発達29 難病25	公的な年金や手当の受給状況について、 「障害者について」ではなく 「障害者を対象とする」に修正	問　障害者**を対象とする**公的な年金や手当などを受けていますか。 に修正しました。
43	調査項目 質問内容	共通	身体31 知的29 精神43 発達31 難病27	就労状況において、退職の実態を把握する	問　あなたは何か仕事をしていますか。 「02.**以前、働いていたが仕事をやめた（現在は働いていない）**」 を追加しました。 また、退職の原因を後の副問に追加しました。
44				仕事をしているかについて、 事業所や作業所をまとめて、改めて「福祉的就労」と言い換える必要があるか。	「福祉的就労」 を削除しました。
45				副問1　仕事の種類は何か。 に、事業所などでの軽作業を追加	「 10. 作業所等での軽作業」 を追加しました。
46				副問2　就労状況において、就職活動の実態を把握する	副問2　どのようにして仕事を見つけましたか。 「01.**自分で探した**」 「04.**相談支援専門員の支援を受けた**」 を追加しました。また、 「05.北九州障害者しごとサポートセンター**の支援を受けた**」 に修正しました。
47				副問3　仕事形態での 「正規の職員」とは一般的でない	副問3　あなたはどのような形態でお仕事をされていますか。 「**正規雇用（正社員）**」 に修正しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
48	調査項目 質問内容	共通	身体31 知的29 精神43 発達31 難病27	副問3　仕事形態での 「正規雇用」のうち、就労条件の差異について 実態を把握する	「01.**正規雇用（正社員）で、他の社員と勤務条件等に違いはない**」と、 「02.**正規雇用（正社員）で、短時間勤務などの障害者配慮がある**」
49				就労状況をより詳細に把握する	就労時間を把握し、障害者雇用率に反映される就労実態以外の雇用の状況を把握するため、 副問5　**あなたは1週間あたり平均して何時間働いていますか。** を追加しました。 また、就労の継続状況を把握するため、 副問6　**あなたは今の仕事をどのくらい続けていますか。** を追加しました。
50				就労状況において、退職の実態を把握する	副問8　あなたが仕事をやめた原因は何ですか。 01.**障害や病気で身体的に働くことが困難になったため** 02.**職場や通勤経路のバリアフリー化が進んでいなかったため** 03.**職場の人間関係がうまくいかなかったため** 04.**仕事内容が自分には向いていなかったため** 05.**仕事をうまくこなしていくことが出来なかったため** 06.**職場で必要な支援を受けることができなかったため** 07.**出産や育児など家庭の事情** 08.**高齢のため** 09.**一方的な解雇** 10.**その他（具体的に　　）** 11.**分からない** を追加しました。
51				就労状況において、仕事をしていない理由の実態を把握する 働くために必要なことについて、選択肢を細かに追加し実態を把握する	副問9　あなたが**現在、**仕事をしていない主な理由は何ですか。 「08.**高齢のため**」 を追加しました。 また、一部、文言をわかりやすく修正しました。 「09.働く必要がない**ため**」 「10.働きたくないため」 など、修正をしました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
52	調査項目 質問内容	共通	身体32 知的30 精神44 発達32 難病28	ジョブコーチの説明を正確に ジョブコーチ（企業に出向いて指導をする人）	一部、文言をわかりやすく修正しました。 「01.勤務時間や日数の短縮**などの配慮があること**」 「02.勤務場所に**おけるバリアフリー等の配慮**（障害者用の設備・機器の配置**などを含む）があること**」 「10.周囲が自分**の障害**を理解してくれること」 「14.ジョブコーチ（**企業に出向くなどして職場定着の支援をする人**）」 「15.就労後のフォローなど、職場と支援機関の連携**が図られること**」 「19.**特別な配慮は必要ない**」 など、修正、追加をしました。
53	調査項目 質問内容	共通	身体33 知的31 精神45 障害児29 発達33 難病29	「外出しない人」用の回答を追加	「06.**外出しない**」 を追加しました。
54	調査項目 質問内容	共通	身体34 知的32 精神46 障害児30 発達34 難病30	外出するときの手段に モノレールを追加してほしい	「06.電車・バス・**モノレール**」 に変更しました。
55				外出するときの手段で、自家用車の場合、 運転手を確認し、実態把握を細分化	「01.自家用車（**自分で運転**）」 「02.自家用車（**家族が運転**）」 に変更しました。
56	調査項目 質問内容	共通	身体35 知的33 精神47 障害児31 発達35 難病31	外出するときの介助者について、 実態を把握する	介助する人について、 副問　**あなたが外出するときの主な介助者は誰ですか。** 設問を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
57	調査項目 質問内容	共通	身体36、37 知的34、35 精神48、49 障害児32、33 発達36、37 難病32、33	外出するときに困ったことについて、 屋外に外出した場合と、「公共的施設」を利用した場合に分け、バリアフリー、障害者差別解消にかかる課題を詳細に把握する	問36　外出する特に、**特に**困ったことはどんなことですか。 問37　外出して、**店舗や駅など公共的な施設を利用するときに、特に**困ったことはどのようなことですか。 に分けました。
58				バリアフリー法などにかかる施設設置者の義務にかかる項目を追加し、対応実態を把握する	問36　外出するとき・・・ 「08.**障害者が利用できる施設や設備についての標示が分かりにくい**」 問37 公共的な施設を利用するとき・・・ 「02.**施設内の通路が狭い**」 「06.**オストメイト対応のトイレが少ない**」 「08.**障害者が利用できる設備や施設の配置についての標示が分かりにくい**」 「10.**カウンターや操作盤、表示などの位置が高いなど、使いづらい**」 を追加しました。
59				外出時に困ることの実態をより詳細に把握する （他都市で実施されている回答項目を追加）	「14.**休憩するスペースが少ない**」 「15.**発作などの突然の身体の変化が心配**」 を新たに追加しました。
60	調査項目 質問内容	共通	身体38、39 知的36、37 精神50、51 障害児34、35 発達38、39 難病34、35	余暇活動に「娯楽」を追加	「08.**カラオケやゲームセンターなどの娯楽**」 を追加しました。
61	調査項目 質問内容	共通	身体40 知的38 精神52 障害児36 発達40 難病36	生活の中での地域とのかかわりの状況を把握する	問　**あなたは、地域のどんな行事や活動に参加していますか**。 **01.盆踊りなどの地域の行事** **02.子ども会の活動など** **03.地域運動会などのスポーツ活動** **04.文化祭などの文化活動** **05.地域の防災訓練・防災パトロール** **06.地域の清掃活動** **07.その他（具体的に　　）** **08.地域の行事には参加していない** を追加しました。
62	調査項目 質問内容	共通	身体41 知的39 精神53 障害児37 発達41 難病37	余暇活動や社会的活動について 「活動に関する相談支援」 ではなく「活動に関する相談窓口」に。	余暇活動や社会的活動について 「08.活動に関する相談**窓口**」 に修正しました。また、 「10.**特に必要なものはない**」 を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
63	調査項目 質問内容	共通	身体42、43 知的40、41 障害児38、39 難病38、39	リハビリなどの支援について 療養・リハビリ・訓練のメニューを正しく反映させる、また、わかりやすく	リハビリなどの支援について 「04.社会参加**・適応**訓練」 「05.**移動・**歩行訓練」 「07.**点字・手話などの**コミュニケーション訓練」 に修正しました。また、今後受けたいものについての設問に、 「11.**受けたいと思わない又は受ける必要がない**」 を追加しました。
64			精神54、55 発達42、43	リハビリなどの支援について 対象事業の利用実態を広く把握するために、調査項目を、精神障害者や発達障害児・者にも拡大する	リハビリ・訓練などの支援についての項目を、精神障害者と発達障害児・者の調査にも追加しました。
65	調査項目 質問内容	共通	身体44 知的42 精神56 障害児40 発達44 難病40	生活に関する悩み不安などを相談している人について、 「家族」は1番目に。 その他、障害種ごとに異なっていた選択肢を統一	「01.**家族や親せき**」 「06.**障害者団体や家族会**」 「08.**通園施設や学校などの先生**」 「09.地域の相談員、**民生委員・児童委員**」 「15.**相談しない**」 など、並び替えと追加、修正などを行いました。
66				「相談員」の名称を正しく	「身体・知的障害者相談員」に修正しました。
67	調査項目 質問内容	共通	身体45 知的43 精神57 障害児41 発達45 難病41	利用したことのある相談機関について、 組織改正を反映	「障害者住居サポートセンター」 を削除しました。 「09.**北九州**障害者しごとサポートセンター」 に修正しました。 「16.**障害者差別解消相談コーナー**」 を追加しました。
68	調査項目 質問内容	共通	身体46 知的44 精神58 障害児42 発達46 難病42	必要な相談機関について 何の「専門的な知識・技術」が必要か明確に	相談機関に必要なもの 「01.**相談したい内容についての**専門的な知識や技術」 に変更しました。
69				必要な相談機関について 「障害種別に関わらず相談できる・・・」 障害種別で制限した相談窓口、機関はないので不要 分からないを追加	「障害種別に関わらず相談できる・・・」 を削除しました。 「分からない」 を追加しました。
70	調査項目 質問内容	共通	精神60 発達48	健康を管理している人について、 「訪問看護ナース」を追加	「11.訪問看護ナース」 を追加しました。
71	体裁 設問順	共通	身体47、48 知的45、46 精神62、63 障害児43、44 発達50、51、52 難病43～47	医療機関についての設問の場所を障害種にかかわらず統一する （障害福祉サービスの前に）	設問の場所を統一化しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
72	調査項目 質問内容	共通	身体47 知的45 精神62 障害児43 難病43	かかりつけ医の質問をわかりやすく、 また、かかりつけ医が障害の専門医かどうかの設問を追加し、地域の一般診療所の利用状況などを把握	かかりつけ医を決めているかについて 「01.**決めて**いる」 「02.**決めて**いない」 「03.分からない」 に回答選択肢を変更しました。その上で、 副問 **「かかりつけ医」は、障害の専門医ですか**。 を追加しました。
73			発達50	かかりつけ医について 発達障害児・者にも設問を拡大する	かかりつけ医についての項目を、発達障害児・者の調査にも追加しました。
74	調査項目 質問内容	共通	身体48 知的46 精神63 障害児44 難病44	「かかりつけ医」以外の専門医についての質問が、わかりにくい。 障害の専門医なのか、一般の医師なのかわかりやすく。 また、回答選択肢も分かりやすく	問　**障害の専門医や「かかりつけ医」以外の、その他の医師**に診てもらいたい時に・・・ 「01.**障害以外で受診を希望する診療分野の**専門医**について**の情報がない」 「02.**他の医療機関を知らないので、どこに行けばよいか分からない**」 「03.障害を理解してくれる**医師**が少ない」 「04.他**の医療機関**がバリアフリーになっていない」 「08.他の医師にかかる必要がない」 「09.特に困ったことはない」 に修正、変更、一部追加しました。
75			発達51	かかりつけ医以外の医師への受診について 発達障害児・者にも設問を拡大する	かかりつけ医以外の医師への受診についての項目を、発達障害児・者の調査にも追加しました。
76	調査項目 質問内容	難病	難病45	難病の専門医について わかりやすく	問　**あなたが受診している難病の**専門医の診療科は何ですか。 **診療科**（　　）に修正しました。
77	調査項目 質問内容	難病	難病46	受診している専門医の病院の所在地について わかりやすく	問　**あなたが受診している難病の**専門医がいる病院はどこにありますか。 「01.**北九州**市内」 「02.市外（**福岡**県内）（具体的に　　**市・町・村**）」 「03.県外（九州内）（具体的に　　**県**」 「04.関西**地方**（具体的に　　**府県**）」 「05.関東**地方**（具体的に　　**都県**）」 「06.その他（具体的に　　**道県**）」 に訂正しました。
78	調査項目 質問内容	難病	難病47	交流する場、機会について、 選択肢を追加	「01.患者・**家族会**」 「05.**北九州市の難病フェイスブック**」 「06.**インターネット**」 を追加しました。
79	調査項目 質問内容	難病	難病48	障害福祉サービスについて、手帳のない難病患者も利用できることを知っているか把握する	障害福祉サービスについて、手帳のない難病患者も利用できることを知っているかの設問を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
80	調査項目 質問内容	共通	身体49 知的47 精神64 発達54 難病49	障害福祉サービスの利用について 認定は、障害福祉区分	問　あなたは**障害支援区分（障害程度区分）**の認定を受けていますか。 に修正しました。
81	調査項目 質問内容	共通	身体50 知的48 精神65 発達55 難病50	65歳以上の方の介護保険サービス利用状況を把握する	問　**あなたは介護保険によるサービスを利用していますか**。 を新たに追加しました。 また、副問で要介護度の質問を追加しました。
82	調査項目 質問内容	共通	身体51～ 知的49～ 精神66～ 障害児45～ 発達56～ 難病51～	障害福祉サービスの利用状況について、各サービスの分類をわかりやすく	問の分類を見直しました。 また、サービス名なども修正しました。
83				サービス名なども制度改正に即して修正 サービスの内容説明を修正	サービス名や内容説明を修正しました。
84				利用状況の選択肢を整理する	回答選択肢 「01.**利用している**」 「02.**利用していないが、今後利用したい**」 「03.**利用していない、又は対象者ではない**」 に変更しました。
85				サービスをどのくらい利用してみたいかについて、 例示が不適切なものがある。	各サービスに応じて、それぞれ適切な例示方法に修正しました。
86	調査項目 質問内容	共通	障害児48、49 発達61、62	障害福祉サービスの利用のうち、 障害児にかかるサービスはまとめる	問の分類を見直しました。 また、サービス名なども修正しました。
87	調査項目 質問内容	共通	障害児50 発達63	問　福祉施設を利用する際にどんなことに不満・問題があると思いますか。 「07.施設の建物や設備に不満がある」 「08.外出の機会が少ない」 文言を整理する	問　福祉施設を利用する**とき、特に**どんなことに不満がありますか。 「07.施設の建物や設備**が良くない**」 「08.**施設から**外出**する**機会が少ない」 文言を整理しました。
88	調査項目 質問内容	共通	発達64	既存の施設、サービス以外にあったらいいなと思う施設や環境について、 回答を整理できるようにする	回答欄について、分類ごとに自由記載欄を設けました。
89	調査項目 質問内容	共通	身体56、57、58 知的54、55、56 精神71、72、73 障害児51、52、53 発達65、66、67 難病56、57、58	スポーツなどをしてい「ない」人の回答項目を追加	普段やっているスポーツについて 「16.特に何もしていない（理由　　）」 今後やりたいスポーツについて 「16.特にない（理由　　）」 スポーツセンターに求めるものについて 「05.特に求めるものはない」 をそれぞれ追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
90	調査項目 質問内容	共通	身体61 知的59 精神76 障害児56 発達70 難病61	一般情報の入手方法について 「・・・情報**をどのようにして手に入れていますか**。」 設問や解答をわかりやすく	問　日頃、あなたはニュースや行事などの一般的な情報を、**どこから知ることが多いですか。** に変更しました。 また、「インターネット」を「インターネット**（パソコン）**」 に変更しました。
91	調査項目 質問内容	共通	身体62 知的60 精神77 障害児57 発達71 難病62	障害や福祉の情報の入手方法について 「・・・情報**を何から得ていますか**。」 「04.新聞・テレビ・ラジオ」 「03.障害者団体の機関紙」 「07.他の障害者」 「10.施設・事業所の職員」 「08.地域の相談員、民生委員」 設問や解答をわかりやすく	問　あなたは障害のことや福祉サービスなどについての情報を、**どこから知ることが多いですか。** に変更しました。また、 「02.**本や**新聞、**雑誌の記事、**テレビやラジオ**のニュースなど**」 「05.障害者団体**や家族会**（団体の機関紙など）、他の障害者」 「06.**家族や親戚、友人・知人**」 「08.**サービス**事業所の人や施設の職員」 「09.**かかりつけの医師や看護師**」 「10.地域の相談員、民生委員**・児童委員**」 に修正、一部追加しました。
92	調査項目 質問内容	共通	身体63 知的61 精神78 障害児58 発達72 難病64	通信手段について 「スマホ」を追加する	「04.メール（パソコン、携帯電話、**スマートフォン**）」 に変更しました。
93	調査項目 質問内容	共通	身体64 知的62 精神79 障害児59 発達73 難病64	必要なコミュニティ支援について 「分かりやすい説明」、言語障害に対する支援」について 例示するなどわかりやすく	「07.分かりやすい説明**（やさしい言葉への置き換え、ゆっくり話すなど）**」 「08.言語障害に対する支援**（音声ソフトや絵カードの利用など）**」 と補足説明を追加しました。
94	調査項目 質問内容	共通		副問　どんなときにコミュニケーション支援が必要か 「教育機関等に行くとき」をわかりやすく 「家族と会話するとき」「仕事をするとき」を追加	「01.**日常、家族と会話するとき**」 「02.**職場や学校で仕事や勉強をしているとき**」 「03.病院にかかるとき**（入院中を含む）**」 「08.入学式、卒業式、授業参観など**のために学校等**に行くとき」 に追加しました。
95	調査項目 質問内容	共通	身体65 知的63 精神80 障害児60 発達74 難病65	災害時の情報入手方法について、 市の事業を確認して修正	「市が提供する視覚・聴覚障害者に対する避難情報」 「市の防災・危機管理情報ツイッター」 を追加しました。
96	調査項目 質問内容	共通	身体68 知的66 精神83 障害児63 発達77 難病68	災害時の対策として準備していることについて、 「特定の薬、栄養剤、非常電源、衛生用品などの準備」を選択肢に追加	災害時の対策として準備していることについて、 「06.**特定の薬や栄養剤、非常用電源、衛生用品などの予備を準備している**」 を追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
97	調査項目 質問内容	共通	身体69 知的67 精神84 障害児64 発達78 難病69	災害時に特に必要な支援について 自由回答をやめ、具体的な回答選択肢を提示する	問　あなたにとって、災害時に特に必要な支援は何ですか。 「01.**避難のときに、声かけや誘導などをしてくれること**」 「02.**避難のときに、介助してくれること**」 「03.**必要な補助用具を提供してくれること**」 「04.**投薬や透析などの専門的な医療支援を受けられること**」 「05.**避難所などで、障害に配慮した環境が確保されること**」 「06.**避難のときや避難所などで、障害について周囲からの理解が得られること**」 「07.**災害情報や避難情報等がわかりやすい表示板や放送で提供されること**」 「08.**周囲とのコミュニケーションを支援してくれること**」 「09.**社会福祉士やカウンセラーなどの専門員を派遣してもらえること**」 「10.**指定避難所以外に避難している人も支援してもらえること**」 「11.**その他（具体的に　　）**」 「12.**特に必要ない**」 「13.**分からない**」 を新たに追加しました。
98	調査項目 質問内容	共通	身体70 知的68 精神85 障害児65 発達79 難病70	差別を受けたりいやな思いをした経験について、 差別をうけた具体的な場面や内容などの実態を把握する	副問1　どのような場面で差別やいやな思いをしましたか。 01.**学校・仕事場** 02.**仕事を探すとき** 03.**外出先** 04.**余暇を楽しむとき** 05.**病院などの医療機関** 06.**住んでいる地域** 07.**その他（具体的に　　）** を追加しました。 副問2　どのような差別やいやな思いをしましたか。について、 平成26年度は自由記載だったものを平成23年度までの**選択肢**のうち、回答の多かったものを抽出して復活しました。
99	調査項目 質問内容	共通	身体71 知的69 精神86 障害児66 発達80 難病71	相談を受ける側に望む対応について 取り組みに「具体的な」を追加	「01.ただ話や苦情を聞いて**欲**しかった」 「02.解決のために**、具体的な**取り組みをして欲しかった」 「03.理解を深めるための啓発活動を行って**欲**しかった」 に修正しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
100	調査項目 質問内容	共通	身体72、74 知的70、72 精神87、89 障害児67、69 発達81、83 難病72、74	差別やいやな思いを減らすために、どうすればよいか、どのような取り組みをすることが必要か。	同じような設問なので、 「問　**差別やいやな思いを減らすためには、どうすればよいか。**」 と、 「問　**市役所がどのような取り組みをすることが必要だと思いますか。**」に分けて整理しました。 そのうえで、いやな思いを減らすために 「03.**地域での交流やボランティア活動などで、障害者とともに過ごす機会を増やす**」を追加しました。
101	調査項目 質問内容	共通	身体73 知的71 精神88 障害児68 発達82 難病73	障害者差別解消法の認知度について、実態を把握する	問　**平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法について知っていますか。** との設問を新設しました。
102	調査項目 質問内容	共通	身体74 知的72 精神89 障害児69 発達83 難病74	「法律や条例で差別を禁止する」 法律施行後なので、文言を修正	「02.**障害者差別解消法の周知**」 「03.**障害者差別をなくすための条例の制定**」 に修正しました。
103				「施設等の職員への研修」 内容を精査し修正	「04.**市役所職員や障害福祉サービス事業者等の職員への研修**」 に修正しました。 「06.分からない」を追加しました。
104			障害児70 発達84	障害のある子どもをもつ家族の支援について 保護者への質問への回答は 過去の回答実績から多かった内容を箇条書きに選択肢をしめす わかりやすく回答しやすくすることで家族の状況を把握する	障害のある子どもを持つ家族に対して必要な支援 「01.**早い段階から教育に関する支援制度の情報を提供してくれる体制**」 「02.**義務教育から高等教育や就職まで、切れ目なく相談できる体制**」 「03.**障害のある子どもを持つ保護者の経験を共有する機会**」 「04.**通園、通学の支援**」 「05.**医療的ケアの必要な障害児の在宅での支援**」 「06.**休日でも、子どもを日中預けることができる支援の充実**」 「07.**保護者の就職活動や兄弟児の学校行事などで利用できる日中一時支援事業（日帰りショート）の充実**」 「08.**保護者が病気のときなど、緊急時に対応してもらえる体制**」 「09.**障害のある子どもの兄弟姉妹への支援**」 「10.**子どもの障害についての知識を得るための専門研修など**」 「11.**その他教育に関する相談支援**」 「12.**その他保護者の就労支援**」 「13.**その他家族などの負担を軽減する支援**」 「14.**日々の心配ごとや将来への不安を軽減する支援**」 「15.**その他の支援**」 「16.**新たな支援の必要は無い**」 「17.**分からない**」 を新たに追加しました。

No.	項目	障害種別	設問番号（1）	見直しの主旨	対　応
105	調査項目 質問内容	共通	身体75 知的73 精神90 障害児71 発達85 難病75	行政に力を入れて欲しいと思うことについて、 「01.・・・啓発・広報**を行う**」 「04.・・・職業訓練などを**充実する**」 「05.障害事業所等の物品や・・・」 「06.・・・療育する体制**を整える**」 「08.医療費負担**を軽くする**」 「09.・・・経済的負担**を軽くする**」 「10.・・・事業所の室の確保**を図る**」 「13.・・・福祉ホームなどの確保**を図る**」 「14.・・・交通機関のバリアフリー化**を図る**」 「15.防犯、防災対策に**力を入れる**」 「16.・・・情報伝達の**手助けをする**」 「17.18.19.・・・支援する人材を**育成する**」 「20.・・・病院を**増やしてほしい**」 文言を精査する	「01.・・・理解を深めるような啓発・広報**活動**」 「04.・・・職業訓練等**の充実**」 「05.**障害福祉サービス事業所**等の物品や・・・」 「06.・・・療育する体制**の整備**」 「08.医療費負担**の軽減**」 「09.・・・経済的負担**の軽減**」 「10.・・・事業所の室**の確保**」 「13.・・・福祉ホームなど**の確保**」 「14.・・・交通機関**のバリアフリー化**」 「15.防犯、防災対策**の強化**」 「16.・・・情報伝達**の確保**」 「17.18.19.・・・支援する人材**の育成**」 「20.・・・病院**の増設**」 などに修正しました。